

講演会報告

第 70 回応用物理学学会学術講演会（2009 年）

講演会企画運営委員長 中川 清和*

第 70 回応用物理学会（2009 年秋季）学術講演会が、2009 年 9 月 8 日（火）から 9 月 11 日（金）までの 4 日間、富山大学（富山県富山市）で開催されました。会期中は 1 日目夕方に少し雨に降られたことを除けば、比較的良い天気恵まれ、気温も例年より低めで爽やかな秋の雰囲気の中で開催されました。厳しい経済情勢の中にも拘わらず 6,204 名の方々に参加登録をいただき盛況のうちに秋季学術講演会を終えることができました。

本講演会は、富山大学の先生方を中心に富山県立大学、富山県工業技術センター、新潟大学、福井大学の先生方で現地実行委員会が組織され、1 年以上も前から開催に向けて本務で忙しい中準備を進めていただきました。現地実行委員長の富山大学 龍山智栄先生、副委員長の安達正利先生、山本嵩勇先生をはじめ、現地実行委員会の諸先生方のご尽力に厚く感謝申し上げます。また現地実行委員会顧問として全体運営にご配慮頂きました西頭徳三富山大学学長、鹿野芳郎富山大学理事、南内嗣金沢工業大学教授をはじめとする関係の方々のご多大なご尽力に対しまして、この場を借りて御礼申し上げます。

今回の講演会では、分科会・研究会企画のシンポジウムが 30 テーマについて開催されました。招待講演者による最新の研究をまとめて聞く機会は会員にとって大変有意義なもので、今後とも充実したシンポジウムを企画できるよう努力いたします。講演件数に関しましては、一般講演 3,381 件、30 テーマのシンポジウム発表など 542 件を合わせて 3,923 件の講演申込があり、41 の口頭講演会場、第 1 体育館でのポスター会場で活発な討論が行われました。とりわけ以下の特別企画のシンポジウムやスクールなどが多くの参加者の興味をひきました。

特別シンポジウム「産学官連携と応用物理学」
現地実行委員長の龍山先生を中心に企画された講演会で、一般の方々にも無料で公開されました。地域の競争力強化や新産業創出を目指した取り組みに関する招待講演が行われ、県などの自治体、企業、大学などの関係者の約 180 名の参加者がありました。

韓国物理学会会長招待講演「Korean physical society and quantum photonic science in Korea」

韓国物理学会会長の Hanyang University（ソウル市）の YoungPak Lee 教授により英語で行われました。約 100 名の聴衆の前で、学会として理科教育に注力していることや、ご専門のスピンロニクスに関する講演が行われ、特に教育に関して活発な質疑応答がなされました。

教育・公益事業委員会と人材育成・男女共同参画委員会の共同企画シンポジウム「若手研究者のキャリアデザイン 就職前に考えよう」

若手研究者、学生会員の皆さんのキャリアデザインをサポートする目的で本シンポジウムを開催いたしました。企画趣旨説明の後、前半と後半の 2 セッションで進行し、前半ではキャリアデザインに役立つ講演を行い、後半では講演者を中心に参加者全員が小テーマに別れてグループ討議をするという新たな試みを行いました。

人材育成・男女共同参画委員会特別企画「博士のキャリア相談会」

この企画は、企業、大学、独立行政法人研究所など 14 機関が参加して実施されました。今回も主として博士課程在籍または修了の 100 名近い求職者が各ブースで担当者と熱心に相談しておりました。この企画は今回が 3 回目で今後も引き続き実施される予定です。

応用物理学会スクール「有機太陽電池の現状と将来展望」

このスクールでは、原料入手の容易さ、低価格等の点から注目を集めている有機太陽電池（有機分子膜を用いたもの、酸化チタン粒子等に色素を付着させたもの）に関して、基礎的なことから応用に至るまでの講演がなされました。参加人数約200人とクリーンエネルギーへの関心の高さを表していました。

応用物理学会スクール「次世代ディスプレイエレクトロニクス技術 フレキシブル化とプリンタブル技術の未来」

薄型、大画面、曲面、フレキシブル、プリンタブル等のキーワードで表わされるディスプレイに関わる技術の現状、将来展望についての講演が参加者約100名で行われました。

APEX/JJAP フレンドシップミーティング

APEX で最も多いダウンロード数となっている論文の執筆者による講演やジャーナルのインパクトファクター等の評価に関する講演が行われ、明治大学のマーク・ピーターセン教授の英語論文中級講座では、約100名の参加者を前に投稿論文を例に具体的に説明しながら添削が行われました。

今回も魅力溢れる企画が多く、参加者には満足していただける講演会ができたものと考えております。このような魅力的な企画を立案された多くの委員の皆様最後に感謝の意を表します。

以前に実施しましたアンケート調査による会員のご意見をもとに、予稿集のDVD-ROM化を来年春の東海大学での講演会から実施する予定です。第0、1、2、3分冊全てをDVD-ROM1枚に収めたもので、索引を充実させることにより予稿集の利便性を一層向上させたものいたします。今後は、事前参加登録者には予稿集を予めお送りします。これに伴い、参加登録料の改訂を行います。会員の皆様のご理解と御協力をお願いいたします。

* 山梨大大学院